

【令和 4 年 6 月 8 日現在資料】

第 17 回全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催について

1 主催

全国高等学校選抜アイスホッケー大会苫小牧実行委員会
構成：苫小牧市、(公財) 日本アイスホッケー連盟

2 期間

合宿枠 7月30日(土)～8月1日(月) (3日間)
公式練習 8月2日(火)
大会 8月3日(水)～8月7日(日) (予選リーグ 3日間、決勝トーナメント 2日間)

3 会場

市内3か所のリンク (白鳥王子アイスアリーナ・ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ・新ときわスケートセンター)

4 参加者

(1) 出場チーム

対象：高校生男子 (対象：単一校、県選抜、クラブチーム)
各都道府県1チーム ※北海道10チーム、青森県2チーム、東京都2チーム
人数：[想定] 28チーム 選手・スタッフ等 計700人

(2) 大会運営スタッフ

対象：大会役員、競技役員、試合運営スタッフなど
人数：[想定] 200人

5 競技方法

予選リーグ：参加チームが8ブロックに分かれて実施 (1チーム2、3試合)
決勝トーナメント：各予選リーグ1位により実施 (1チーム最大3試合)

6 新型コロナウイルス感染症対策 (概要)

前回大会の市による検証をベースとして、日本アイスホッケー連盟やインターハイのガイドライン等を参考に、国立感染症研究所や苫小牧保健所等の専門家の助言を踏まえ、実行委員会において、「新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本方針」(第1版)を策定した。

(1) 大会運営

- ・大会10日間前から対外試合、部外者との練習を禁止
- ・予選リーグ戦を導入し、各リーグの会場を固定
- ・有観客試合(予定)
⇒観戦エリアの設定のほか、感染状況等により無観客試合も検討する。

(2) 会場対策

- ・試合間のインターバルを拡大
- ・消毒作業のマニュアル化（ベンチ、控室など）
- ・選手動線管理の徹底（各チームに専属のスタッフを配置）
- ・換気の強化
⇒整氷時における外気の入力、リンク上の空気の排出を予定。

(3) 検査体制

- ・PCR検査を大会前に実施
- ・抗原検査を毎日実施（8/2～7）
- ・健康チェックアプリの導入
⇒いずれの検査も選手、関係者、大会スタッフを対象とする。

(4) チーム管理

- ・各チームに感染防止対策担当者を設置
⇒チームの感染対策責任者として、チーム関係者の新型コロナ対策や体調管理を行うとともに、実行委員会との連絡調整を担う。
- ・移動、宿泊、食事の際の感染症対策を指示

(5) 発生時の対応

- ・PCR検査で陽性 ⇒ 所属チームは、来訪及び出場不可
- ・抗原検査で陽性 ⇒ 所属チーム及び対戦した全チームに抗原検査
所属チームと対戦した全チームは、出場不可
- ・体調不良者が発生 ⇒ 所属チーム及び対戦した全チームに抗原検査
※37.5℃以上の発熱など 検査結果に関わらず、所属チームと対戦した全
チームは、出場不可

(6) 今後について

- ・国の感染症対策の動向等を踏まえて、「新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する基本方針」を改訂し、必要な対策を講じる。